### 児童生徒の声を新聞に

「こだま学園編」

毎週日曜掲載の投稿コーナー「こだま学園編」では、児童生徒、学生の皆さんの声を募集しています。

日常生活や学校での学習、体験、ニュースを 見て思ったこと、気づいたこと、自分の考えや意 見を自由に書いてください。



- •対 **象**:山陰両県の小中学校、高校の児童生徒、専門学校、高専、大学の 学生。児童クラブなどからの応募も歓迎です。
- •テ ー マ:自由ですが、必ず「自分の意見、考え」を入れてください。
- •文字数:400字程度(趣旨は変えずに文章を整える場合があります)
- 応募方法: 学校や学級で取りまとめて送ってください。数人からで OK。クラス 全員でなくても構いません。有志だけで応募できます。
  手書きでも、パソコンで打ったものでも OK です。
  郵送、FAX、メールで送ってください。
- ・掲載は原則実名です。名前が確認できる名簿を作品と一緒に送ってください。
- ※投稿が掲載された人には図書カードを贈呈します。

#### ☑ 応募・問い合わせ先

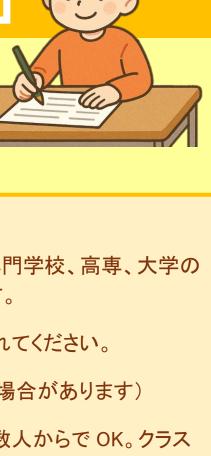
〒690-8668 松江市殿町 383 山陰中央新報社 学園こだま係

電 話:0852-32-3414

F A X:0852-32-3520

メール: nie@sanin-chuo.co.jp





私は

こう思う!

# 短稿(授書)

## を書こう!

#### 投書って?

- 意見、感想、希望、苦情、疑問など、自分 の思いを、読者に伝えるための文章です。
  - ・字数制限があります(「こだま学園編」は400字程度)。簡潔に書きましょう。
  - SNSへの投稿と違い、実名(名前を出す)が原則です。

#### 書き方の3ステップ

- ①テーマ(書きたいこと)を決める。
- ②構成を考える(「はじめ・なか・おわり」「序論、本論、結論」)。
- ③読み返し、推敲する。
- ※推敲(すいこう) = 文章を何度も見直して、 よりよくすること

#### 「伝えたい」を見つけよう

文章のうまさより大切なのは、「伝えたい」という気持ちです。

まずは自分が「伝えたいことは何か」をしっかり見つけることが大事です。これがあれば読み手の心に響きます。

伝えたいことが見つかったら、勇気を出して、少しずつでいいから言葉にしてみましょう。



「このことを他の人にも知ってほしい」「考え てほしい」と思う話題を選ぶ

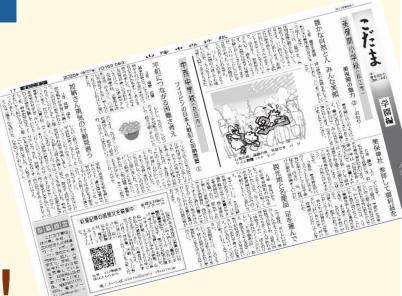
- ・身の回りの出来事や日常生活で感じたこと (家族・地域・学校・部活・趣味など)
- ・社会の出来事に対する考えや意見(事件、 事故、政治、経済、地域課題、テレビや インターネットで気になったニュースなど)

#### 🔞 自分の意見を入れる

✓ 必ず自分の主張、考え、意見を入れましょう。これが投書で最も必要な要素です。

「○○について私は○○と思う」

「私は○○と考える」



伝えるって楽しいよ! みなさんの投稿をお待ちしています